

貧困地域への国際支援



今月のAIヌードル



● AIヌードル設立当初から長く取引してくれている日本料理店「Katanashi」の日本人オーナーが、9月26日に牡蠣専門の日本料理店「Oyster Man 牡蠣男 Kaki-O」をオープンした。「Katanashi」ではラーメン、餃子の皮、うどんを卸しているが、こちらでもうどんを納品することになった。

牡蠣入りオイスターうどんや明太子うどんなど、海鮮風味の焼きうどんが提供される。



老舗の多店舗展開が相次ぐ

● 先月8月に紹介した「Shangri-la」、上の「Katanashi」などカンボジアでは老舗になってきた日系飲食店でコロナ禍を経てもなお人気を維持しているお店が、このところ店舗を増やしている。

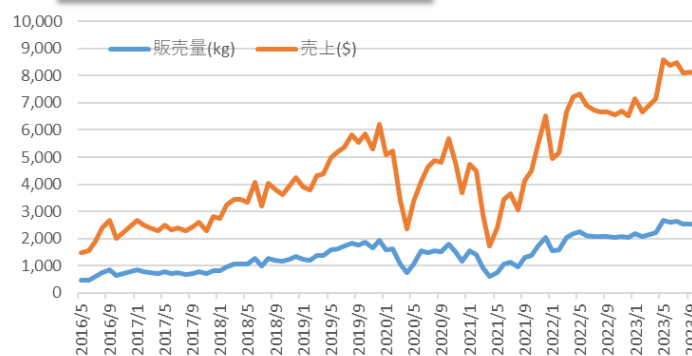
こちらも長年の得意先である「Himonoya」の日本人オーナーが新たに「居酒屋 新道」を出店予定。

「居酒屋 新道」の看板では、既に日本やシンガポールにも店舗がある。ここカンボジアでは、ビル一棟をまるごと借りきり、居酒屋・カフェ・ラーメンなどを集めた飲食店ビルとしてオープンする構想らしい。

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。



AI ヌードル 販売・売上推移



カンボジア絵本寄贈プロジェクト



歴史的背景から、いまだ教育制度が整っていないカンボジア。最近の若者の間ではデジタル化が急速に進み、携帯の普及率は高まる一方、書籍を読む文化は育まれていません。



そこで、現地で活動する（一社）ソーシャルコンパスと共同で、子供たちに絵本を贈る企画が進行中。印刷費の支援をした1,000冊の絵本は、フリースクールや孤児院等を訪問した際や、イベント開催時にもプレゼントしています。



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ (2023/9/23分)

重量	換算寄付額
7.10 kg	71 円
ポリオワクチン	Co2削減量
約 3.55 人分	22.37 kg
これまでの合計	
総重量	13.9 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

